

東北支社 入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和8年2月13日（金） 東北支社11階 会議室	
委員	笹村 恵司（弁護士） 辻田 芳幸（東北学院大学教授） 河野 達仁（東北大学大学院教授）【欠席】 只森 健一（公認会計士・税理士） 小笠原 孝史（東北経済連合会 専務理事） 山田 正太郎（東北大学大学院教授）【欠席】	
審議対象期間	令和7年4月1日～令和7年9月30日	
抽出案件	総件数【6件】	備 考
○工事	【4件】	
・一般競争	1件	磐越自動車道 東松トンネル工事
・条件付一般競争	1件	東北自動車道 R7北上管内舗装補修工事
・条件付一般競争 （指名併用型）	1件	秋田自動車道 峠山工事用道路工事
・随意契約	1件	東北自動車道 泉PAスマートICETC設備更新工事
○調査等	【1件】	仙台北部道路 富谷地区舗装詳細設計
○物品等	【1件】	令和7年度 東北支社 管理局データ装置 機器購入
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p>【入札監視統一事務局における工事審査実施状況報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見・質問なし <p>【競争参加資格停止等運用状況一覧表報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独占禁止法違反による資格停止があるが違反の具体的な内容はわかるのか。 ・同様の事象で資格停止となった場合、自機関と他機関で資格停止期間の重さの違いはあるのか。 <p>【資格取消等状況一覧表報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当なし <p>【一次苦情及び一次説明処理状況表報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当なし <p>【談合情報について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・該当なし <p>【抽出事案の審議】</p> <p>「磐越自動車道 東松トンネル工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格停止により入札に参加できなかったA社、B社は具体的にどの段階で資格停止になった事により入札に参加できなかったのか。 ・C社が辞退しているが理由はあるのか。 ・低入札者がいなかったようだが契約制限価格が読みやすかった等、何か要因はあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他機関の資格措置に伴う資格停止であり、他機関の公表でも具体的な記載がされていないため、具体的な内容まではわからない。 ・自機関で停止となった場合の方が重い設定となっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・競争参加資格確認申請書の提出期限から落札者決定の日の間に資格停止となった場合は競争参加資格がなくなり入札に参加できない。A社、B社とも第3回資格等審査委員会から入札日の間に資格停止となっている。 ・具体的な理由はわからないが、入札書提出期限までにC社とD社がTOBにより資本関係となったため、現状のままでは資本関係のある者同士が参加することに抵触し、競争参加資格がなくなるため、その回避として辞退したと思われる。 ・特に要因はない。入札者が契約制限価格に近い金額で入札した結果である。

「東北自動車道 R7北上管内舗装補修工事」

・ワークライフバランス関連制度認定がほぼ0点となっている。えるぼし、くるみん、ユースエールとあるがユースエールについて教えてほしい。

・本案件については2者しかワークライフバランスの資格を保有していないが、えるぼし、くるみんは大手企業であれば保有しているイメージだった。

・国の施策として若者の採用を推進している事だと思うが、ユースエール保有者がいない状況について意見を伺いたい。

・緩和するのではなく資格取得推進のために変更をするものと思っていた。ワークライフバランスを導入するのであれば取得を推進する算定方法とするのが良いのではないか。

・補修工事は部分的に行うのか、全線に渡り補修しているのか。

・6者が資格停止や辞退より入札に参加しなかった事は気になるところだが、技術評価点の高い者が落札者となっている点については適正な入札がされたと感じられる。

「秋田自動車道 峠山工事用道路工事」

・工事用の道路を造る理解でよいか。

・仮設ヤードとは何をするための施設なのか。

・岩手県内に絞った73者に指名し参加希望者が4者となっている。本件のようなケースは人が見つからないこともあるかと思うが、参加希望者の情報を持っていたりするのか。

・地元の業者の採用は非常に良い取り組みだと思う。

・第1回目の入札で全者が超過し、第2回目の入札で第1回目の3番手の者が落札している。入札価格がわからなければ第2回目も超過する可能性あると思うが、第1回目の入札価格を公表しているのか。

・ユースエールは青少年の雇用の促進に関する法律に基づき認定される制度である。若者を対象とした正社員の採用や人材育成の取り組み、離職率の低さなどが審査の対象となる。ユースエールの対象は中小企業となっており本案件については大企業であったため取得している者はいなかった。

・本案件はワークライフバランスの導入当初の案件であり、認定を受けていない者も多かった。現在は取得している者も増え状況は変わっている。

・ワークライフバランスの導入当初は3つの認定のうち2つを取得している場合に満点としていたが、実態を踏まえ昨年度から1つ保有していれば満点となる算出方法に変更している。

・現在は実態を踏まえ当初に比べると緩和された算出方法となっている。推進する算定方法についてはご意見として伺っておく。

・施工範囲の中で損傷している箇所を計画的に補修している。

・そのとおり。工事用道路として現道の拡幅や新たな進入路を作る工事である。

・本線工事の発生土を仮置きする施設である。

・情報はないが、本案件は岩手県において数十年ぶりの新設工事であり、地元の会社に施工いただきたい意向を込めて地域要件を設定しており、4者に応募いただいた。

・1回目の入札時に最低入札価格を入札参加者全員に公表している。

「東北自動車道 泉PAスマートICETC設備更新工事」

- ・緊急調達による特命随意契約はよくある事なのか。
- ・不落札となった当初入札の契約制限価格に対し、落札者が決定した2度目の入札の契約制限価格が低くなっているのはなぜか。
- ・6回見積合わせをしているが見積合わせは1日で行われたのか、複数日で行われたのか。
- ・現場工事3ヵ月に対し機器製作が11ヵ月の行程となっているがこれは標準的なのか。
- ・優先交渉者の選定について第1位は該当者なし、第2位に該当したE社と契約をしているが、第3位以下の会社は実質的に関係ないと考えてよいか。
- ・第2位のE社が応じなかった場合、第3位の4者に交渉権が移ると思うが、4者の優劣はどうなるのか。
- ・F社が低入札調査の結果、不成立となった詳細を教えてください。

「仙台北部道路 富谷地区舗装詳細設計」

- ・テクリスへの契約実績登録を業務実績の項目としているが、G社は技術評価点がかなり低い。競争性を高めるために設定した項目に対し点数の低い者が入札に参加できてしまうのは抽出の方法があっていないと感じる。
- ・ワークライフバランス以外の評価が満点なのに、ワークライフバランスの点数が取れなかった事により落札者と成りえなかった状況が確認できる。技術点、価格点の高い者がワークライフバランスにより評価されないのであればワークライフバランスの評点について検討の必要があると感じた。
- ・入札価格が均衡しているが調査基準価格のラインを読みやすかった等の要因はあるのか。

- ・類似する案件はたくさんではないが過去にもある。
- ・1回目の入札は令和6年10月、2回目の入札は令和7年1月に実施したため、算出単価の変動により契約制限価格も変更となっている。
- ・本案件については1日で6回の見積合わせを実施している。
- ・ETC工事については過去の実績や半導体不足などの情勢も踏まえ、現場工事、機器製作の期間を設定している。
- ・本案件についてはE社が優先交渉に応じたが、応じない場合は3位以下の会社へ順番に優先交渉に応じる意思があるか確認をしていく。
- ・同位の者については抽選により交渉の順番を決定する。
- ・対面調査において価格の根拠資料の提出を求めたが提出がされず、入札価格での施工が可能との判断に至らなかったため。

- ・本案件は業務実績の範囲を道路会社及び国の実績とし、市町村の実績は認めないとしていたが、G社は市町村の実績提出したため技術評価点が低くなっている。
- ・貴重なご意見として伺い、ワークライフバランスの評定について検討していく。
- ・本案件は弊社の積算基準に基づいて算出されており、見積活用方式を採用していない案件であるため、各入札参加者が経費の部分で調整をしたため入札価格が均衡したものと思われる。

<p>「令和7年度 東北支社 管理局データ処理装置 機器購入」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入するのはハードウェアなのか。ハードウェアならばコンピューターやコピー機のようにリースをした方が安価となるように感じるがリースはしないのか。 ・メンテナンスも含まれているのか。 ・随意契約による2者入札で入札価格に差があるが何か要因はあるのか。 ・このシステムは全国的に運用されているのか。 <p><u>全体を通じて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札方式については国交省の体系を参考としていると思うが、国交省でもワークライフバランスを加味した入札をしているのか。またNEXCO中日本、NEXCO西日本でも同様の入札方式となっているのかを教えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理局データ処理装置を実装したハードウェアを納入する仕様となっており、管理局データ処理装置の特殊性もありリースではなく購入としている。 ・メンテナンスは関連会社で行っている。 ・入札価格の算定は弊社ではわからないため、要因はわからない。 ・旧公団の時代より使用しているシステムのため、NEXCO中日本、NEXCO西日本でも運用されている。 ・国が評価基準としてワークライフバランスを使用していることは認識しているが、NEXCO中日本、NEXCO西日本が使用しているかはわからない。
<p>審議結果の報告</p>	<p>個別の審議案件について、入札の事務手続きについて特段の疑義はないものと認められるが、2点ほどお願いしたい。</p> <p>1点目は技術評価点のワークライフバランスについて具体的に入札参加者がどのレベルにあるのか現状を踏まえた上で、どのような項目を評価するのか、また点数のウエイトをどうつけるのか検討いただきたい。</p> <p>2点目は地元育成として岩手県内の業者を選定とした「秋田自動車道 峠山工事用道路工事」は地元の業者を育成するという観点では非常に良い取り組みだと思うので継続して取り組んでいただきたい。</p>